

結の心を大切に、誰もがきらきらと輝き共に助け合い、支えあう福祉のまちづくりを目指して



No. 32

2020年(令和2年3月)

たけとみちょう

# 社協だより

編集・発行 / 社会福祉法人 竹富町社会福祉協議会 / 事務局 〒907-0012 石垣市美崎町16番地6  
 TAKETOMI TOWN SOCIAL WELFARE CONFERENCE 離島等相当通所介護事業所 訪問介護ステーション さみん  
 Phone(0980)84-3302 (直)・(0980) 82-3002 (Fax兼用)  
 E-mail:takeshakyou@blue.ocn.ne.jp



＊竹富町ふれあいサロン事業、ボランティア指定推進校＊

「あしながおばさんの会」と「大原中学校」の交流会



島に住む高齢者と次世代を担う子供達の交流を通して相互理解を図り、地域ネットワークの構築を目指すことを目的とし、フランス発祥の競技である「ペタンク」や中学生たちが考えたレクをおこないました。お互いに、世代が違って一緒に遊び、楽しい1日でした。

もくじ

サロン団体 活動紹介(6団体).....	2
募金箱 実績報告 .....	4
学童募金贈呈式.....	5
ボランティア研修報告(黒島小中学校・上原小学校・大原中学校教諭参加).....	6
ボランティア研修報告／善意の紹介.....	7
令和元年度 赤い羽根共同募金助成金 取り組みについて紹介 .....	8

# 竹富町社会福祉協議会ふれあいサロン

## ＊ふれあいサロンとは？＊

気軽に集える場所をつくることを通じて、誰もが住み慣れた地域で  
安心して暮らせるまちづくり・仲間づくり・健康づくり・社会参加をするための活動です。

### ◇ 活動中のサロンの紹介 ◇

【西表島 東部地区】



## ☆ 大富ふれあいサロン ☆

・第3水曜日 13:30～15:30

ボケない! 転ばない!

無理しない! を目標に!!

明るく、元気で楽しむサロン

毎週水曜日は体操をしています。

## ☆ 豊原しらゆり会 ☆

・第1・3金曜日 14:00～16:00

声を出す事で元気に!

カラオケやゆんたく、

軽体操を楽しんでいます。



## ☆ 大原ぱいぬサロン ☆

・第2水曜日 13:30～15:30

グランドゴルフに工作、遠足、  
カラオケ、小学生との交流など  
月替わりで楽しんでいます。

毎週金曜日は体操しています。



他に

西部地区… ☆結の会 ☆人生ゆいまーるの会

東部地区… ☆あしながおぼさんの会 ☆こみゆサロン

があります。

## ✿サロンってどんな事するの??

カラオケやレクリエーションに脳トレ、健康づくりの体操やゲートボール、遠足等加者の興味や関心に合わせて活動しています。

.....♡竹富町には 10 か所のサロンがあります♡.....



### 【波照間島】

#### ☆ハイビスカスはーもにー☆

・月1回 2時間程度

料理教室やレク、石垣島遠足等、  
女子会の雰囲気のあるサロン。

### 【竹富島】

#### ☆ほほえみの会 ☆

・月1回 10:00～13:00

ゲートボールやグラウンドゴルフ、  
遠足、園児との交流等、  
毎月楽しんでいます。



### 【竹富島】

#### ☆まーまーず ☆

・毎週木曜日 10:00～14:00

脳トレ、歌、健康体操、  
ゲーム、ゆんたく等  
楽しんでいます。



～人と人とのつながりづくり～

地域のみinnで独りぼっちにしない、ならない。『ふれあいサロンに』参加してみませんか？  
現在、サロン参加者とボランティアさんを募集しております。  
お問い合わせは：竹富町社会福祉協議会まで

# 令和元年度 赤い羽根共同募金実績報告 パート1

今回は、手作り募金箱についてご紹介したいと思います。

募金箱目標額 120,000 円に対して、令和元年度は **183,708 円（達成率 153%）** でした。



ボランティア指定校(2年間)である、西表島の上原小学校、大原中学校の2校が思いおもいの募金箱を真剣にまた楽しく作り、各島々、石垣島の店頭へ設置しご協力いただきました。募金の趣旨をご理解、ご協力下さいました町民の皆様、児童会、生徒会、篤志家の方々に対し、心から厚く申し上げます。誠にありがとうございました。

募金実績の内訳については、次の通りです。



## 令和元年度募金箱設置（地区別）

No.	地区	場所	金額
1	竹富島	ゆめん屋	3,600 円
2		内盛商店	3,146 円
3		竹富港売店	6,477 円
4	小浜島	前本商店	1,215 円
5		ヤシの木	1,411 円
6		くば屋あ	2,543 円
7	黒島地区	民宿・パーラー あーちゃん	291 円
8		ビジターセンター	251 円
9		たま商店	982 円
10		まちや（八重観 切符売り場）	712 円
11	西表島西部	川満スーパー	13,544 円
12		西部出張所	1,231 円
13		屋良商店	1,009 円
14		ラーメン片桐	1,055 円
15		スーパー八重	1,657 円
16		唐変木	407 円
17		星砂スーパー	2,003 円
18		ゆりみな	3,863 円
19		デンサー食堂	2,496 円
20		食堂たまご	1,984 円
21	西表島東部	離島振興総合センター（出張所）	3,482 円
22		株式会社 由布島	2,401 円
23		玉盛スーパー	5,353 円
24		西表島交通株式会社	1,820 円
25		ラ・ティダ西表	1,611 円
26		西表ジャングルホテルパイヌマヤ	848 円
27		大富共同売店	4,373 円
28		スオウの木（ヤマネコ商店）港内売店	5,811 円
29		みなとのやおや	4,101 円

No.	地区	場所	金額
30	波照間島	南共同売店	215 円
31		名石共同売店	3,795 円
32		丸友売店	1,745 円
33		富嘉売店	4,450 円
34		まるま売店	4,634 円
35		すむづれ（港売店）	1,977 円
36	石垣島	波照間港売店あだん	2,181 円
37		メイクマン	6,924 円
38		西表観光センター	595 円
39		瀬戸商店	6,304 円
40		とぅもーるショップ	2,324 円
41		平田観光株式会社	1,129 円
42		ファミリーマート 730 記念碑前店	2,752 円
43		トーセンド	2,467 円
44		南京堂	1,797 円
45		かみやき小かまぼこ	2,883 円
46		ファミリーマート石垣ゆいロード店	7,212 円
47		山田書店	3,378 円
48		メルヘン	6,740 円
49		安栄観光	1,725 円
50	八重山観光フェリー	2,865 円	
51	石垣トラベルセンター	372 円	
52	島グルメ 謠々亭	221 円	
53	ファミリーマート 市役所前店	16,676 円	
54	ファミリーマート 石垣登野城仲道店	10,291 円	
55	居酒屋こてっぺん	3,021 円	
56	竹富町役場	3,917 円	
57	竹富町社会福祉協議会	1,441 円	

# 令和元年度 学校募金贈呈式が7ヶ所で行われました (実績報告パート2)



**11月25日 鳩間小中学校 16,245円**

「鳩間島のお年寄りや地域の困っている人のために役立ててもらえると嬉しいです。」



**12月10日 波照間小中学校 14,721円**

「自分の小遣いなどで集まった募金です。いろいろなところへ活用して行って下さい。」



**11月25日 上原小学校 20,096円**

「皆さんの協力のおかげでたくさんの募金が集まりました。この募金を大切に使ってください。」



**1月20日 大原小学校 50,458円**

「街頭募金も行い、多くの方々の優しさや思いやりも入っています。この募金で地域の困っている人たちへつかってください。」



**11月25日 船浦中学校 4,264円**

「来年も先輩たちがやっていたみたいにこのような機会があったらたくさん呼びかけて募金をして地域貢献したいと思いました。」



**1月20日 大原中学校 68,920円**

「昨年度は、生徒会執行部だけの街頭募金活動でしたが、今年度は生徒全員で参加しました。赤い羽根共同募金は、私たちが福祉や寄付を学ぶのにとってもいい活動だと思いました。」



**11月26日 古見小学校 26,823円**

「僕たちだけではなく、街頭募金などで地域の方や観光客の多くの方々の協力で集めることができ、感謝しています。」

↓その他、学校募金の実績は以下の通りです。

学校名	金額
竹富小中学校	11,972円
小浜小中学校	5,000円
黒島小中学校	14,477円
西表小中学校	2,504円
白浜小中学校	4,100円
船浮小中学校	318円

皆さんが一生懸命になって取り組んでいただいた募金、皆さんの温かい想いを受け止めることが出来て大変嬉しいです。皆さんの気持ちを町内のお住まいの必要な方々がたくさんいらっしゃると思いますので、有効に活用していきたいと思います。本当にありがとうございます。優しい気持ちが届くようにしていきたいと思います。



竹富町社会福祉協議会  
会長：大城正明

## ボランティア学習・福祉教育セミナー 2019

### 「学校・地域・家庭の協働による地域共生社会の実現をめざした福祉教育」

本セミナーは、学校と地域が協力して進める福祉教育の実践事例を通して、これからの福祉教育に必要な視点や展開について考え、沖縄県における福祉教育が広がり、子ども達の学び合いが深まることを目的に沖縄本島で開催された研修会へ、竹富町より3名の先生方が参加しました。  
(財源：竹富町赤い羽根共同募金 児童福祉事業)



- 日時：令和元年 8月23日(金) 13:30～17:00
- 場所：沖縄県総合福祉センター西棟5階501号室
- 講義：「学校・地域・家庭の協働による地域共生社会の実現をめざした福祉教育」他  
講師・新崎国広(大阪教育大学 教育学部 教育協働学科教育心理科学講座 教授)

#### 講義を受けてみての感想

##### (上原小学校：白石晃一さん) ボランティア指定校 平成30年度～令和元年度(2年間)

講話を通して、学校・地域・家庭が「協働」して福祉教育にあたることの必要性を実感することができました。講話のなかの言葉に「福祉教育を風土に」というキーワードがあり、教員や社会福祉協議会職員などの変わっていく人材と、住民や子ども達といった変わらない人材とが、協働し合って福祉教育を地域に根付かせていくことが重要であると気づかされました。

現在、上原小学校では、朝のボランティア活動として、地域のクリーン活動を行っています。登校する友達や地域の交通安全ボランティアの方に挨拶をしたり、出勤時の保護者の皆様に見守られたりしながら公道の落ち葉拾いや、側溝のゴミ拾いなどの清掃活動を進めています。

これからも、地域の方と協働しながら、この取り組みを推進し、学校・地域・家庭で子ども達を育てていけるようにし、この活動が「風土」となるように励んでいきたいと思えます。

##### (大原中学校教諭：榮野川彩子さん) ボランティア指定校令和元年度～令和2年度(2年間)

特に印象的だったのは、「一人だけで頑張ってもしんどい。皆で協力してやっぴいこう！」「皆が笑顔になる。幸せづくりをするのが福祉だよ。」という言葉を通して、色んな環境の子どもがいて、助けてあげたい気持ちはあるものの一人又は学校教育だけでは限界がありますが、私自身も笑顔いっぱいクラスづくりから始め、地域の一員として何かできることはないか考えていきたいと思えます。また、学校・地域・家庭が同じ目的を共有し、同じベクトルに向かって取り組まないといけない。その為にも、今後はコミュニティ・スクールやコーディネーターの配置など、学校を始めとする組織づくりをしっかりと行い、学校・地域が連携した地域づくりを目指していかないと感じました。

##### (黒島小中学校：中村一仁さん) ボランティア指定校令和2年度～令和3年度(2年間)

子どもが取り巻く環境が大きく変化している中で、「教師だけが教育する時代」は難しくなってきた。だからこそ、学校と家庭・地域が連携を図り、協働することが必要であることを改めて感じる事が出来た。また、学校でボランティア学習や福祉教育を行う際に、目的が体験化することがないように気をつけなければならない。体験化だけでは、子どもが「やっぱり障害を持った人は不便で不自由なんだ。」という感想しか持たなくなる。それを防ぐためにも福祉教育の考え方を学ぶことが出来ました。

# 令和元年度 レクリエーション及びボランティア情報交換会報告

日時：令和2年3月3日（火）12：30～14：10

場所：ろうきん2階 会議室

参加者：竹富町サロンボランティア 15名

目的：地域リーダーやボランティアの資質向上を行い、地域ネットワークの推進、地域福祉の向上を図る。

- 内容：1. 前年度情報交換会及び研修会のふりかえり  
 2. アイスブレイク（人面スケッチ・自己紹介・あか、あおゲーム）  
 3. レクリエーション（数字体操・指体操・おはじき・紙コップ立て・ボール運び）  
 4. ゆんたくタイム  
 5. ワークショップ 「自分自身が利用者の立場で参加してみたくなるサロンってどんな内容・雰囲気ですか？」  
 6. グループ発表

昨年に引き続き、第3回目となるボランティアのための研修会では、参加者自身の気づきとなれるように、レクリエーションの意味や、利用者への声かけ方法等についても再確認しながら取り組み、前回の振り返りやサロンの様子の紹介後は、参加者が利用者の立場に立って手遊びやゲーム等、レクリエーションを行い楽しみました。

地域によって集まる人、支える人により居場所は多様。ワークショップの中では、参加者皆さんがたくさん笑って話せて楽しく過ごせる居場所という声が多くあがっていました。美味しいものが食べたい、身体を動かしたいという声もあり、一人で過ごすのではなく、仲間と一緒に好きなことを行いたいという気持ちが伝わってきました。



↑ 数字体操・あかあおゲーム



↑ おはじきゲーム



↑ グループ発表

## 善意の紹介

（令和元年6月22日～令和2年2月20日まで）

竹富町の福祉のためにと、次の方から御芳志をいただきました。  
竹富町の地域福祉推進のため、大切にに使わせていただきます。

令和元年10月15日 株式会社 ピースアイランド  
代表取締役 平安 秀昭 様  
¥200,000

令和元年12月26日 南西開発 株式会社  
代表取締役社長 玉城 修 様  
¥100,000

令和元年10月18日 勝連 隆生 様  
故父 勝連 文雄 様  
¥20,000

令和2年1月28日 高田 見諒 様  
故母 高田 ヨシ子 様  
¥30,000

令和元年12月6日 根原 正昇 様  
故兄 根原 正全 様  
¥10,000

令和2年2月20日  
一般社団法人 沖縄県建築士事務所協会  
公益社団法人 沖縄県建築士会

令和元年12月26日 東迎 りい子 様  
故夫 東迎 一博 様  
¥20,000

¥200,000



↑【おじいちゃん おばあちゃんいつもありがとう 地域交流イベント】

おおはら幼稚園児とのレクや生演奏（オールディーズ音楽）も楽しみながら、東部地区サロン・地域代表者・共同募金協力法人等、関係者を交えて総勢 70 名余りが参加。世代間交流会を楽しむことが出来ました。



私が感じるもの、  
私が見えているもの

障がいの有無に関わらず地域住民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことが出来るように、婦人会、ヘルスメイト、地域の方々が講話・体験をとおして楽しく学び、視覚障がいへの理解へつなぐことが出来ました。

(令和元年 6 月 25 日 小浜島)



長寿者記念品贈呈

竹富町内の 80 歳・85 歳・90 歳・95 歳・100 歳以上の方々へ地域の敬老会等にて区長より記念品を配布。各保育所の協力のもと、ラッピングが華やかになり、地域住民と共に長寿をお祝いすることが出来ました。

(令和元年 9 月)



おじいちゃん おばあちゃん  
いつもありがとう

老人福祉週間行事の一環として、高齢者とふれあいをもつことで、お年寄りを敬う気持ちを育み親しみをもつ。地域の方々にも幼稚園児を知ってもらい、幼稚園教育の理解へつなげることを目的で 開催しました。

(令和元年 11 月 8 日 西表島東部)

